

人口減少社会の処方箋



わが国の人口減少が社会経済に及ぼす影響を考えます。安倍政権が政策目標として掲げた希望出生率1.8への道筋を探ることで、若者が希望を抱くことができる未来を描きます。

18歳選挙権時代のネット選挙

2016年から選挙権が18歳に引き下げられ、同年の参院選では10代の有権者が初めて投票しました。10代有権者はインターネットによって、選挙の情報とどのように関わっているのでしょうか。そして、その影響はどのようなものだったのでしょうか。選挙の意義などについての解説も交えながら説明します。 (9月～3月出講不可)

企業経営と交通政策について考える

経営学は企業が利益を得ることを重視した研究分野ですが、交通における政策的視点とは、企業における利益と地域・地方公共団体・住民との利益を調整しなければ成り立ちません。本講義では、経営学の基本的な考え方と交通における環境政策を交えて講義を行います。

国会の半分以上を女性議員にするのは正しい？



日本の国会では、議員の男女比が9：1であったり8：2であったりします。国民の半分は女性なのに、国民の代表であるはずの国会ではどうしてこうなっているのでしょうか。本講義では、ジェンダーというものから政治や民主主義について考えます。

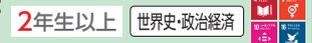
韓国社会における人権問題



韓国社会を理解する上で「人権」は、重要なキーワードの一つです。本講義では、国際的な人権の保護という観点から、現代韓国社会が抱えているさまざまな問題について考えて、理解度を高めることを目的とします。

(4月～9月出講不可)

プラトンとアリストテレス：
理念と実践



今から2500年ほど前、古代ギリシアの哲学者、プラトンとアリストテレスは、師弟関係にありました。しかし二人は、理念と現実・実践の捉え方、正義の追及と実現可能性との緊張関係などについて、対照的な議論を展開しました。本講義では、この後の哲学・政治学の議論に多大な影響を与えた、両者の立論を紹介しつつ、政策立案における理念と実践との関係について考えてみます。

主権国家形成史：
国際関係論の立場から



20世紀の国際関係論の基礎である主権国家体制は、宗教戦争を経てウェストファリア条約によって確立したと言われます。この体制の下で、「勢力均衡」「内政不干涉」「外交」といった概念が発展してきました。本講義では、宗教戦争の時代における政治と宗教との緊張関係を手がかりに、主権国家体制の成立と発展について概観します。

犯罪者の更生



日本の刑務所には、どのような受刑者がいて、どのような生活をしているのでしょうか。それらを知ることで、現代社会における犯罪の特徴と、受刑者の更生についての実態を学びます。罪を償うとは何か、再犯を防止するためにはどうすればよいのかを考える機会とします。